

劇あそび「のはらに穴がとんとんとん」

教科・場面

国語

授業・実践のねらい

- ・ドキドキ感を感じる。
- ・見通しを持った活動にとりくむ。
- ・言葉のやりとりをたのしむ。

対象の生徒

中学部二・三年生

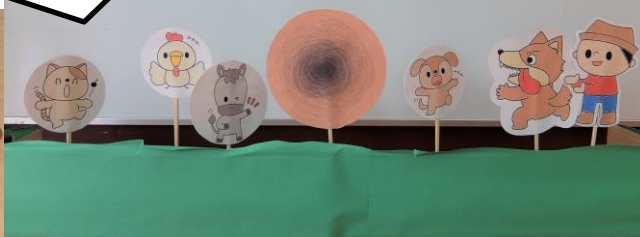
認識面では、「大小」、「長短」などの対比的認識の力を獲得している、もしくは、獲得しつつある二語文もしくはそれ以上を話し、言葉のやりとりが可能である

教材・教具

工夫したところ

・話の流れを生徒が理解しやすいように、ペープサートを使って説明し、劇あそびにとりくんだ。

「穴」に見立てた物



授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ①生徒一人が穴にかくれて、動物のかぶりものを選ぶ。
- ②もう一人の生徒が、歌に合わせて穴の周りを移動する。
- ③歌が終われば、穴の中の生徒に向かって、もう一人の生徒が話しかける。
- ④穴の中と外の生徒が一定のやり取りを行い、「出てきてください」の合図で、生徒が穴から出てくる。
- ⑤トラ以外の動物が穴から出てきたら、一緒に遊ぶ。
- ⑥トラが穴から出てきたら、穴の外の生徒は逃げる。

授業・実践を通じた生徒の様子

- ・活動の見通しをつかんでとりくむことができた。
- ・穴の外の生徒と中の生徒のやりとりについて、アドリブの質問をする生徒があった。
- ・トラ以外の動物が穴から出てくると、生徒はホッとした表情を見せていた。
- ・トラばかり被る生徒、トラを絶対に被らない生徒があった。トラを被らない生徒に理由を聞くと、「こわいから」と言っていた。
- ・生徒総じて、トラが出てくる「ドキドキ感」を感じる事ができた。